



辻川だより

第19号 [2011秋号] 平成23年9月17日発行

発行 辻川区 [辻川公民館]
〒679-2204 福崎町西田原 1227
TEL 0790-22-5763
ホームページ <http://www10.plala.or.jp/tujukawa/>

7月3日 辻川山の手入れ



台風豪雨 9月3日台風12号により市川が増水し、18時頃に田原では井ノ口・西野・吉田・八反田・長目地区に避難準備情報が発表された(神崎橋水位標が氾濫注意水位に達したため)。その後、深夜の生野ダム緊急放水と豪雨(0~2時に53mm)を受け、4日2時には避難勧告が発令された(3時には水位が最高5.92mに[平常時の水位より約4.5m上昇])。辻川消防団も徹夜で警戒に当たった。

8月6日 辻川山山頂からの夜景



福崎町制55周年記念事業
8月6日 サルビア田園アート



観光ガイド交流会

区長 釜坂道弘

この度、神河、市川、福崎の神崎郡3町と生野町で活躍するボランティアの観光ガイドが交流し、それぞれの町の魅力を共有し観光の活性化を図る取り組みとして、「銀の馬車道ガイド交流会」が発足することになりました。

この交流会には、福崎町から地元で活躍する辻川界隈ボランティアガイドが参加します。各町の魅力を共有しながら、今後辻川界隈の観光を通じて地域づくりに取り組もうと思います。

この辻川ボランティアガイドは、平成19年に「地域の魅力を再発見しよう」という取り組みから始まりました。町内の方のみならず町外から訪れた方々に辻川界隈の魅力に触れていただき、同時に歴史・文化の継承ができればと考えています。是非、あなたもガイドとして参加していただければと思います。

協議員会は今

8月と9月の定例協議員会で検討した内容や確認事項を一部紹介します。

- ① 界隈展・民俗学の夕べのふり返り。来年は公民館での展示は取り止め等
- ② 敬老の日の催事は今年も区内対象者129名にお祝い金配付
- ③ 秋祭りについて実行委員会組織を検討
- ④ 国道312号線の区内側溝整備工事は8~11月に
- ⑤ 「民俗学の道」整備の動き
- ⑥ コミ出しマナー徹底のため看板設置
- ⑦ 協議員選出選挙のあり方

《当面の予定》

- 9月25日 道普請(少雨決行)
- 10月8・9日 秋祭り
- 11月 フラワーポット植替
- 11月26日 人権学習会・青少年健全育成懇談会
- 12月 各種団体・隣保長会議

お知らせ

■県指定文化財三木家住宅保存修理工事について

平成23~27年度まで1期工事として、主として主屋の修理工事が行われる。業者は姫路市林田の三木家住宅の工事なども手がけた加西市の神田組。今年度は主屋の半解体工事がなされ、一部は軸組(建築物において土台・柱・梁・筋交などの直線部材で構成される骨組)まで解体されるそう。来年度には復元工事に移行予定。併せて、工事完了後の活用方針の策定も今年度から始まる。なお、二期工事

(副屋や離れ等)は平成28~31年度の予定。

■鈴木まき子さん(隣保)が辻川区の民生委員・児童委員に

任期は2年4ヶ月。前任の内藤政義さん、ご苦労様でした。

■上延英一さん(隣保)が福崎町農業委員に選出されました。

任期は3年。農地に関する問題等、お気軽にお尋ねください。

■辻川鬼太鼓、青葉台で熱演

8月20日、昨年に引き続き青葉台(須加院)の夏まつりへ。小雨上がりの涼しい会場で子供に大人気の鬼太鼓でした。

宮当番より祭礼行事の報告

◆7月10日(日) 夏えびす



◆7月17日(日) 夏まつり

区長さんをはじめ役員や当番の方(20余名)の参加(内、井ノ口から6名)の下、お奉りさせていただきました。十一隣保

事業未報告

◆7月2日(土)

◆隣保長・各種団体役員会議

① 7~8月の行事・事業確認

② 辻川界隈展・民俗学の夕べの詳細説明・依頼

③ 交通安全モテル地区事業は七月十日の交通安全祈願祭・パレードからスタート

④ 自治会対抗親善ソフトボール

大会参加と各隣保からの選手推薦について「体育普及員」

⑤ 秋祭りの法被(大人・子供)と提灯(御神灯)の申し込みについて「青年団」

⑥ 東日本大震災を受けて、辻川区の防災用具の管理は?

↓大半の資機材は公民館倉庫に保管。その一覧表も各所に掲示している。発電機の定期点検は消防団に依頼

◆7月3日(日)

◆辻川山の手入れ

各隣保から一名と協議員で鈴の森神社境内とふれあい広場から山腹の散策道周辺の下刈りや清掃を行った。お宮での夏の神事等に向けて「露払い」ができた。お疲れ様。



福崎町子供会球技大会

▽7月9日(土)

ハレーボール(女子) 4位

一回戦 0-1 田口・長野

二回戦 0-2 井ノ口北野

三位決定戦 0-2 新町

各地区代表が集まった町大会での初戦突破は見事。よく頑張った。

交通安全祈願祭とパレード

◆7月10日(日)

1978年に始まった「交通安全モテル地区」事業。各地区持ち回りで2巡目のスタートが今年度の辻川区。嶋田町長はじめ町交通安全対策会議や交通安全協会からの参加者も交

え、梅雨明け後の炎天下、六〇余名が集った。鈴の森神社ならではの小学生による絵馬奉納もあり、賑やかな集会和パレードになった。9日付神戸新聞に予告記事が掲載されたことも気運を盛り上げた。

◆7月31日(日)

町内一斉クリーン作戦

◆7月31日~8月7日

辻川界隈展

今年は何と言っても七夕飾りが灯籠飾りに変わったこと。大灯籠21個は協議員の新見さん作、小灯籠80個は姫路市大塩のボランティアグループ「日笠山のじぎく園」の皆さんによるもの。「のじぎく園」からはこの内30個が辻川区に寄贈された。感謝。

今年から当分の間、三木家住宅



7月10日 児童代表による交通安全の誓いとパレード





家が保存修理工事のため使用できなくなったこともあり、公民館が新たな展示会場になった。展示作品としては、例年お願いしている皆さんの作品に荒木富佐子さんの和紙人形展が加わった。「昭和」を思い出させる荒木さんの人形には、辻川の街角に常設したい温かさがあった。



↓荒木富佐子さん
和紙人形
→森崎大青さん川柳

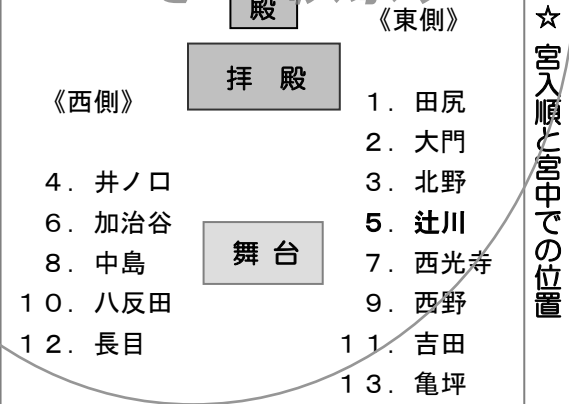
◆8月6日(土) 民俗学の夕べ

今年、柳田國男五〇年祭と第5回民俗学広場まつりが同時に開催されたこともあり、地区外からの参加者も例年以上に多く大盛況の夕べになった。今年初参加の演目は、神戸モンキーズの猿まわし、西脇からの播州太鼓和の風「未来」による太鼓とエイサー、そして『花こま』との共演「播磨の田植え踊り」。なお、猿まわしには商工会より出演費の半額を補助していただいた。毎年のごながら多くの皆様にお世話になった「民俗学の夕べ」。感謝。

青年団からのお知らせとお願い

☆秋季例大祭日程
8日 宵宮 9日 本宮
☆秋祭りまでの予定
乗子練習開始：9月10日
屋台蔵での練習：9月24日
肩合せ：9月25日午後2時
☆熊野神社宮入等の予定
宮入前木方会議 午後1時
宮入開始 午後1時20分
昼休憩 午後2時50分
宮出開始 午後4時
宮出完了 午後5時20分
〔正午～午後6時：田尻交差点～辻川交差点全面通行止〕
☆お願い：青年団員が激減しています。祭りの準備や運行に一層のご理解とご協力をお願いします。

いざ！秋祭り



☆神幸渡御日程(御輿がお旅所)
9日 9:30 祭典斎行(熊野神社)
10:30 神輿渡御発 10:50 岩尾神社着
11:40 岩尾神社発 12:00 熊野神社着

◆8月17・19日 自治会対抗親善ソフトボール大会

一回戦 〇8-7 鍛冶屋
二回戦 ●8-9 新町
惜しくも3位だった昨年の雪辱を期していたが、駒田監督・岡野部長のもと不慣れなスポーツ公園グランドで善戦。声援の多い辻川山グランドでの三回戦進出を目指したが一歩及ばず残念。来年こそは！

◆8月20日(土) 交通安全教室

子供会と老人会の皆さんをはじめとして交通安全協会の役員の方々など、六〇名弱の出席者が交通安全教室に集った。7月10日の祈願祭に始まった「モデル地区」事業の一環。福岡警察署の交通課指導員のお話では今年度郡内で発生した人身事故の約60%が福岡町に集中しているとのこと。併せてDVDも鑑賞した。

8 松岡源之助の社会貢献

松岡源之助は、木材業でもって、巨額の富を得ました。彼が他人と大きくちがうところは、全く惜しげもなく、それを社会に還元したこと。前回紹介

しました田原小学校の講堂の寄付もその一環です。その他の寄付は、ほとんど数え切れないくらいです。その幾つかを紹介しましょう。

まず、病院の寄付を挙げておきます。昭和八年五月、旭川市の石川病院が閉鎖になり、源之助が買収をしました。市会は、これを更に買収して、実費診療所の拡張に充当する計画をたて、満場一致で可決しました。ところが、資金の目途がつかないなかつたのでしよう。市長は源之助を招致して、市会の経過を説明すると共に、可能ならば全額寄附を希望する旨を話したのです。源之助は、「自分の素志は遅かれ早かれ何等かの形に於て其の希望を有するならば九万市民の福祉の為に欣然(注1)同病院の寄附を申出でたい」と話したのです。昭和八年五月一日付の「旭川新聞」は、「かゝる多額の寄附を申出でたことは旭川市としては松岡氏を嚆矢(注2)とする」と報じています。

次に、夜間中学校への基本財産の寄附を紹介します。旭川中等夜学校は、大正一二年に庁立旭川中学校に閉学しましたが、昭和七年には生徒が減少し廃校の危機に瀕したのです。正規の夜間中学を目指す財団法人設立を企画しますが、経済不況のせいもあって困難を極めていました。昭和一〇年、こうした窮状を見兼ねた源之助が莫大な山林と有価証券を寄付し、昭和一二年に財団法人旭川夜間中学が認可されました。財団

法人はその後、北辰中学、旭東奨学会と改称され、現在も生徒への奨学金の支給、学校運営上の援助等に大きな貢献をしています。同校の後身である北海道立旭川東高等学校の校庭には、同校の八〇周年を記念して「松岡源之助翁顕彰碑(注3)」が建てられています。



松岡源之助翁 顕彰碑(注3)
守田悠紀さん提供

もうひとつ挙げておきましょう。東京の目黒の権之助坂を下りたところに天台宗の大圓寺という寺があります。この背山の墓地には源之助の墓があります。同寺の阿弥陀堂には、「願主 松岡源之助」との扁額が懸かっています。それは源之助の寄進によって建てられたからです。私は、福田富衍住職から、源之助がこの堂を寄進した時に、併せて、零式戦闘機(ゼロ戦)二機を陸軍に寄附した。阿弥陀堂は零式戦闘機一機分の費用を要したので、この時、合計、零式戦闘機三機分の費用を出している、この話を聞きました。同寺では源之助に深い感謝の念を抱き、現在でも、毎朝、

源之助夫妻の戒名を唱えてお勤めをされています。室内には源之助の遺影が祀られています。

(注1) 心からよろこびさま
(注2) 物事のはじめ、起り
(注3) 私事で恐縮だが、私の職場に旭川東高校出身の同僚がいる。彼の母校に顕彰碑が平成一五年に建てたことを知り、ご家族にその写真データを送っていた。碑には「兵庫県田原村において一家の長男として生を受けた翁は十二歳で父を失い、明治二四年渡道後幾多の辛酸を嘗めながら成功を収めた立志伝中の人であり、その傍ら、教育や医療など様々な分野に多額の寄付を続けるなど社会奉仕への情熱がひとときわ高い人でした。…」と紹介されている。(田崎)

編集後記

「辻川だより」の文字を少し大きくしました。従来はA4版面のスペースに収めるために文字の寸法を変えたりしていましたが、原稿や記事の多いときにはB4版に変更することにしました。第4号以来です。

さて、松岡秀隆さんによる「松岡源之助」はいかがですか。本年四月十四日付け神戸新聞に、大門の高井佳哉さんによる「富豪一代：松岡源之助」出版の紹介が載っていました。松岡さんが「松岡源之助傳」を出版されたのは遡ること4年前の平成十九年。町立図書館にも寄贈されていますので是非併せてご覧ください。ちなみに、源之助さんの父福五郎と妻とき子は大門が出所だそう。 (田崎)